

特別養護老人ホーム 第二天神の杜

き す な

- 絆 -

第 49 号

2024 年 1 月 新春発行

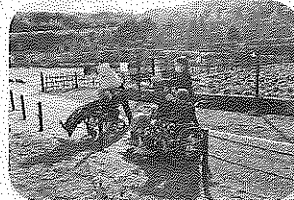


第二天神の杜 家族の会
特別養護老人ホーム 第二天神の杜

施設からの活動報告

10月7日(土) 西代公園へ散歩

気候のいい日で、人通りが少ない日を選び久しぶりのお出かけに「いい風が吹いていて、気持ちがいい」と喜んでおられました。



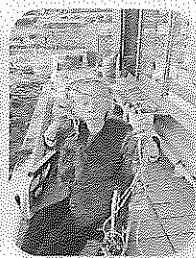
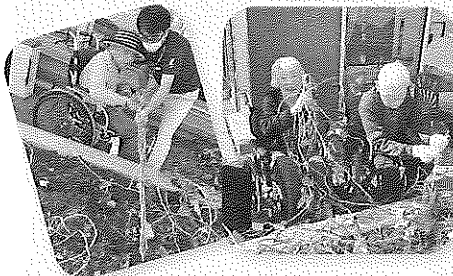
10月15日(日) 走田神社祭礼の子ども神輿

子ども神輿の巡行では、子どもたちの勢いよく叩く太鼓や掛け声に見ている入居者様全員が元気をいただきました。



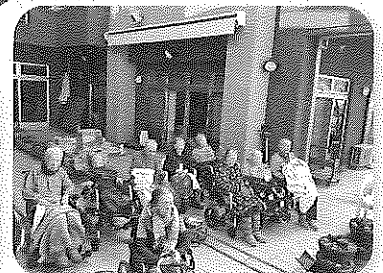
10月31(火) 芋掘り

屋上の菜園にさつま芋の苗を植え、水やりなど手塩にかけて育てた立派なさつま芋が収穫できました。「大きいな〜」「いつ食べるの?」と嬉しそうに話されていました。



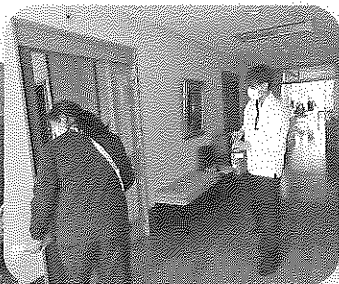
11月9日(木) 焼き芋

収穫したさつま芋を小川のテラスでダッチオーブンを使い焼き芋にしました。皆様焼き立ての香ばしい焼き芋を「ホクホクで美味しい」と笑顔で召しあがられていました。



11月21日(火) 避難訓練

昼間の火災を想定した避難訓練を実施しました。職員は互いに大きな声を出し合い、迅速に避難誘導が行えました。火災が発生した時に、どのように避難するかを改めて学び直しました。



11月22日(水) 食欲の秋 手作りコロッケ

チケットを持って、熱々のかぼちゃ、さつまいも、じゃがいものコロッケの中から好きな物を選んでもらいました。「できたてだから美味しい」「たくさん食べたい」なかには「コロッケの唄」を唄い始める方もおられました。



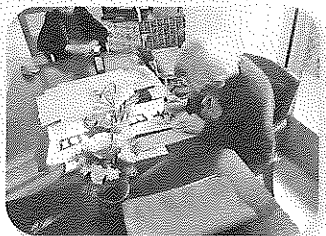
12月19日(火) 注連縄づくり

毎年恒例の注連縄作り、ユニットの玄関はもちろん、各居室にも飾ります。職員が一生懸命作る注連縄を見ながら横からヨイショヨイショとかけ声をかけ、立派な注連縄が完成すると大きな拍手が起きました。「ありがたいな〜」「これ、どこに飾るの?」「上手にできたの頂戴」と皆様興味津々でした。



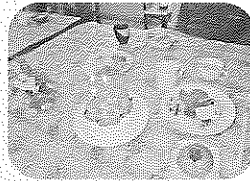
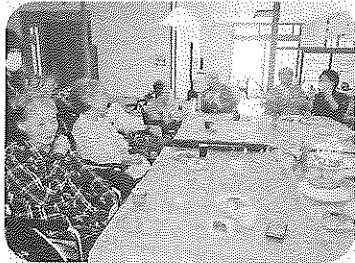
1月1日(祝)

おせち料理は「今年もみんなが一年間、健康で幸せに暮らせますように」という強い願いが込められた縁起の良い料理です。各ユニットにて、お互いの健康長寿・無病息災を願い、楽しい時間過ごしておられました。



ユ ニ ツ

わかくさ



10月18日 誕生日洋食パーティー
皆様は大好きな洋食を美味しくいただきました。



10月25日 うどんパーティー
うどん職人と一緒に一から作り、できたてのうどんをいただきました。

さわらび



10月25日 手打ちうどん作り
職員特製の手打ちうどんを、皆様でいただきました。



11月5日 小川のテラスでお昼ごはん
天気も良く、小川のテラスでみんなでお昼ごはんをいただきました。

なでしこ

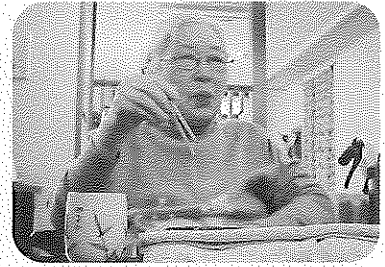
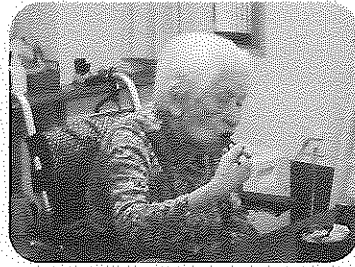
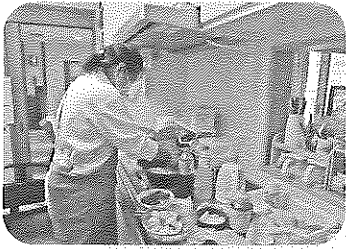


11月24日 お好み焼きを食べよう
目の前でたくさん焼いたお好み焼きを美味しくいただきました。



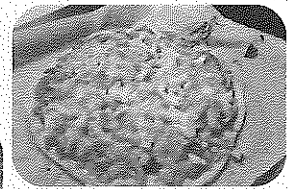
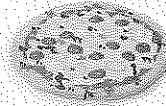
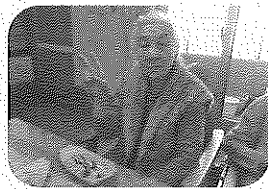
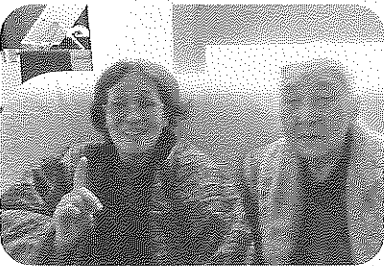
ト 報 告

ききょう



11月10日 すき焼きを食べよう
 タレから手作りをした美味しいすき焼きを
 いただきました。

はぎ



11月9日 益田様歓迎会
 皆様でたこ焼きを作り、熱々のたこ焼きを
 食べて懐かしい話で盛りあがりました。

11月19日 ピザ作り
 お好きなものをのせたピザ作りを皆様と
 楽しみ、焼き立てのピザを美味しくいた
 だきました。

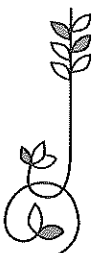
こぐり



**11月12日 土井様、田中様
 誕生日会 すき焼き**
 できたてのすき焼きに、皆様は
 肉も野菜もたっぷり味わって
 おられました。



**11月27日 大槻様
 お誕生日会**
 パンナコッタを作り、
 皆様で大槻様のお誕生
 日を祝いました。



ふれあい広場

このコーナーでは、家族様や入居者様のお話を中心に取り上げています。家族様から寄せていただいたお話をご紹介します。

母のこと

村尾 佳代



10月から入居しました山蔭玉枝、97歳。子供3人、孫8人、ひ孫21人の頂点にいます。私は長女の村尾佳代と申します。これから親子共々お世話になりますが、よろしくお願ひします。

母は私たち夫婦と自宅で気ままに暮らしていたため、第二天神の杜に馴染めるかどうかとても不安でした。でも、心配は杞憂で、お世話くださっている皆さんの温かくウイットに富んだ対応に笑顔が見られ、驚くと共にとても嬉しく思っています。

ところが、せっかく慣れてきたところだったのに、11月21日の夜中に転び右の大腿骨を骨折し入院してしまいました。ケアマネジャーの田中さんには、検査等に一日中付き添っていただき、申し訳ないと思いつつも心強く有難く思いました。とにかく、母は人一倍心配性で且つ痛みに弱い為、「痛い！痛い！」と大騒ぎするし、私が傍にいると甘えが出て一層声高に痛がりまですので、母の傍に田中さんについていただきました。お蔭様で、私は、お医者さんや看護師さんから落ち着いて手術や入院の説明を聞き、手続きをすることができました。今回の対応に感謝すると共に、不自由な状況で天神の杜に戻ることになる母の今後の生活ケアへの信頼が一層深まりました。

さて、母は本来とても活動的な人でした。女学校時代にはテニスの京都代表として明治神宮大会に出場。子供の手が離れると、暑さ寒さをものともせず地域でテニスやバドミントンに取り組み、他府県への試合にも積極的に参加していました。テニスではねりんピックにも出場しました。その傍ら、自分や娘たちの洋服を手作りし、私たちのウエディングドレスまで縫ってくれました。さらに、ご近所の方に声をかけ講師を呼び、染物、アートフラワー、吊り雛…、我が家はちょっとしたサロンになっていました。時には麻雀パイを混ぜる音と賑やかな笑い声が外まで聞こえてきて驚いたこともありましたよ。

一転、家族のことでは大変な心配性。家族の誰かの帰りがちょっと遅いだけでも外に出て、まだか？まだか？とうろろうしてしまし、自分は何でも積極的にやろうとするのに、子供たちが何かやろうとすると、心配性全開！あれダメ！これダメ！…。しまいには子供たちは、やりたいことは母に黙ってやるしかないってことになりそうでした。とは言え、子供たちはそんな母の愛情や心配をしっかりと受け止め感謝しています。「子供は親の言う通りにはしないが、する通りにはする」と言われますが、私たち三人の子供たちは、ご多聞に漏れず、皆、我が子に対して同じような心配をして煙たがられています。

そんな母とはずっと一緒に過ごしたいと思っていましたが、昨春に脳出血してから急速に進んだ直前記憶の喪失、体調不良、手足の不自由さと共に出てきた赤ちゃん返り等々に振り回される日々が続く中、第二天神の杜への入居を勧められ決断しました。最初は色々考えてしまい辛い思いもしましたが、面会時に母の笑顔を見ると、離れる時間ができたことがお互い優しくなれるのかもしれないと思えるようになってきました。第二天神の杜の皆様にはご迷惑だろうなと思いつつ、これからも、母の元気な笑顔に可能な限り会いに行きたいと思っています。

家族の会からご挨拶

家族の会 会長 福田 竜造

新年あけましておめでとうございます。

皆さま健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年12月10日(日)家族の会役員会を開催致しました。下半期の家族の会としての事業等について施設の皆さんと協議し下記の通りに決めさせていただきました。

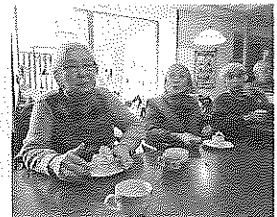
- ・12月24日(日)各ユニットにクリスマスケーキの贈呈
- ・年末大掃除の中止
- ・1月1日(祝)鏡餅の贈呈・正月飾りの活花の贈呈
- ・機関紙「きずな」第49号・第50号の発行

昨年は、新型コロナウイルスが「5類」に移行したとはいえ、高齢者施設での感染対策はこれまでと大きく変化することはありませんでした。施設の職員の方は、入居者の方ができるだけ普段通りに過ごせるように感染対策をしながら施設の行事やユニット企画などできることを精一杯していただいた1年だったと思います。

家族の皆様の入居者様に会いたい気持ちと施設としてしなくてはいけない感染ルールで家族も施設も悩んだ1年だったと思います。今年は「近い距離で会えること」を目標に掲げ、楽しく有意義な時間を過ごせることを施設の皆さんと共に実現していきたいと考えています。

・12月24日(日)クリスマスケーキの贈呈

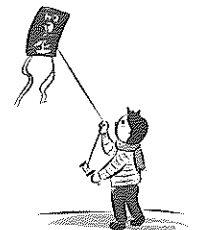
今年最後の季節行事をユニットリビングにて、楽しい雰囲気の中で美味しいケーキを笑顔で召しあがっていただきました。



・1月1日(祝) 鏡餅の贈呈

ユニットに鏡餅を贈呈させていただきました。

2024年が第二天神の杜の入居者の皆様にとって佳き年になることを願っています。



施設からご挨拶

施設長 千葉 功貴

あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2024年も、より一層のご支援を賜りますよう、職員一同心よりお願い申し上げます。

昨年11月初旬に施設の入居者様・職員が新型コロナウイルスに感染し、家族の皆様には、大変ご心配をおかけしました。また、これに伴い家族の面会を施設全体で中止とさせていただいたことへのご理解・ご協力をいただき本当にありがとうございました。

今年の冬は、新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザやノロウイルスなども流行していること等を受け、施設としてより一層の感染対策に注意して取り組んでいきたいと思っております。

入居者の皆様は7回目のコロナワクチンの接種と毎年実施のインフルエンザ予防接種を嘱託医の山田先生に、11月～12月かけてワクチンを接種していただきました。接種後入居者の皆様は特にお変わりなく過ごされています。

昨年5月に新型コロナウイルスは「2類」から「インフルエンザ並みの5類」に変更と発表があり、いよいよ「第二天神の杜にも日常が戻ってくる」との期待感が家族様と同じく職員全体にもありました。しかし、重症化しやすい高齢者施設は、感染対策は継続との通達でした。

当初は周りを見渡すとマスクを着用されている方も多くおられました。半年も経過すると街は様変わり、高齢者施設は未だに「日常」の生活を取り戻せていない状況です。

新型コロナウイルスによる面会自粛が開始されて4年という長い月日が経とうとしています。家族の役員の皆様と話し合いをし、ご要望のあった入居者様と家族様が「近くで会える時間を大切にする」ために、感染対策はきちんとしながら、より近くで会える空間を考えていきたいと思っております。

家族の会より、体温測定がスムーズに行えるように家族の会役員会にて検討していただき、非接触式体表温度計を施設に寄贈していただきました。

※非接触式体表面温度計はセンサーで体温を約0.5秒で瞬時に計算して体温を表示、体温が高い場合は警告を鳴らし測定者にお知らせします。



家族の会 寄贈

社会福祉法人 長岡京せいしん会 住所 〒617-0853 京都府長岡京市奥海印寺竹ノ下19番地
特別養護老人ホーム第二天神の杜 Tel (075) 959-1220 (代表) Fax (075) 957-2112

ホームページアドレス <http://www.tenjin-no-mori.or.jp>

[掲載する内容、写真に関しては、あらかじめ家族様より許諾を得て掲載させていただいております。]